

取扱説明書

YANMAR

ヤンマートラクター SUPER FORTE MARK III AF-30R/33(JR)/35JR




当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本
取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、
事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。



ヤンマートラクターを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、同梱の「ヤンマートラクター-AF-22～33、AF-28J～35J」と機能が違う部分の取扱方法と使用上の注意事項のみ記載してあります。ご使用前に必ず、この取扱説明書と同梱の「ヤンマートラクター-AF-22～33、AF-28J～35J」を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- AF-33JR/35JRの運転には、大型特殊自動車免許が必要です。道路走行時には、必ず免許証と、自動車検査証を所持してください。
- AF-33JR/35JRについては、車検を必ず受けてください。

	サービスと保証について	3
	各部のなまえ	4
1	エコトラUFOについて	6
	1. 各部のなまえとはたらき	6
	2. 基本的な使いかた	9
	3. 3P切換スイッチ	10
	4. センサ異常時の表示について	10
5. 使用後の手入れ	10	
2	各部のなまえとはたらき	11
	油圧・走行関係	11
	電装関係	12
3	運転と作業のしかた	14
	1. エンジンの始動・停止のしかた	14
	2. 作業機を上下させるには	16
	3. 作業機の降下速度の調節のしかた	17
	4. バックアップ装置の使いかた	18
	5. 発進・停止・駐車 of しかた	18
	6. 道路走行のしかた	20
	7. 坂道での運転のしかた	21
	8. ほ場への出入りのしかた	21
	9. 作業に適した速度の選びかた	22
	10. ほ場での旋回のしかた	23
	11. エコモードの使いかた	24
12. 高速耕うんに適した車速	26	
	定期の点検・調整について	27
	1. ヒューズ・ヒュージブルリンクの 点検・交換について	
	仕様	28

サービスと保証について

保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社支店までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- 型式名と製造番号
- エンジンの場合はエンジン番号
- ご使用状況は？
(何速で、どんな作業をしていたときに)
- どのくらい使用されましたか？
(約□□アールまたは約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後12年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

トラクターの保証と点検整備

1) 弊社規定の点検整備表に従って、3回の点検整備を無料で受けることができます。(トラクター保証書を御参照願います。)

第1回目……納入直後(納品時の取り扱い運転指導を含む)

第2回目……納入後起算1ヶ月または、使用時間50時間のいずれか早い時期。

第3回目……納入後起算11ヶ月または、使用時間300時間のいずれか早い時期。

2) 第2回目、3回目の点検整備は、指定の時間、または期日がきたらご購入先販売店または農協に点検整備を申し込み、指定整備工場で点検整備を受けてください。

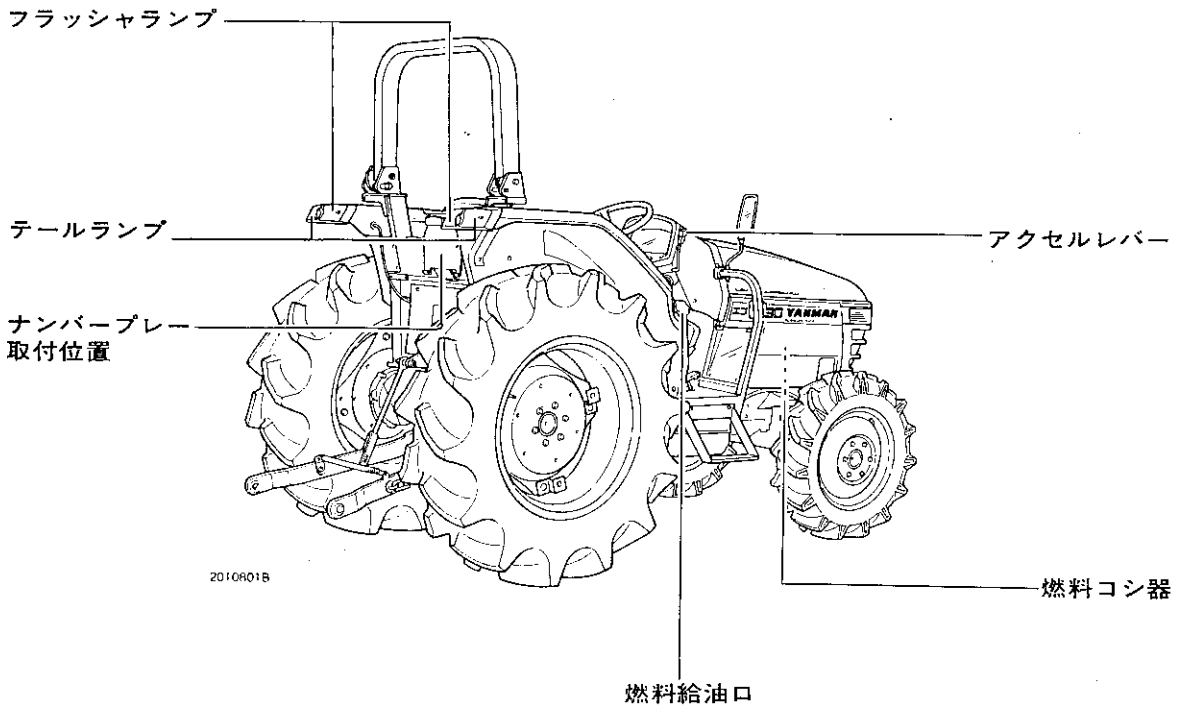
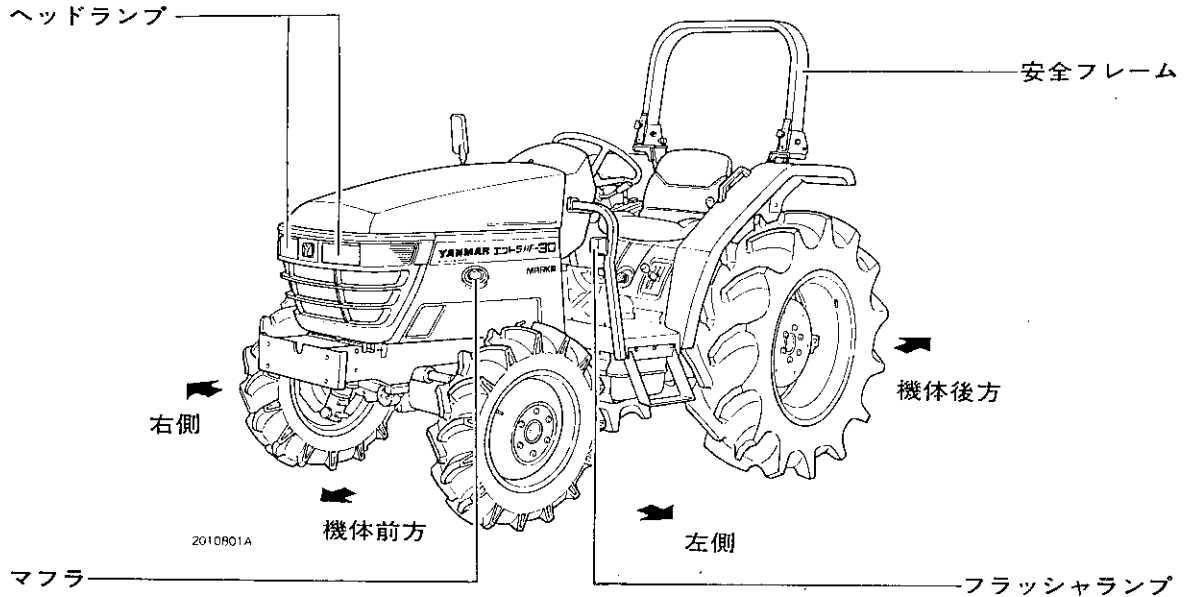
※上記指定の期日、または使用時間を過ぎた場合は、無料点検を受けられなくなります。

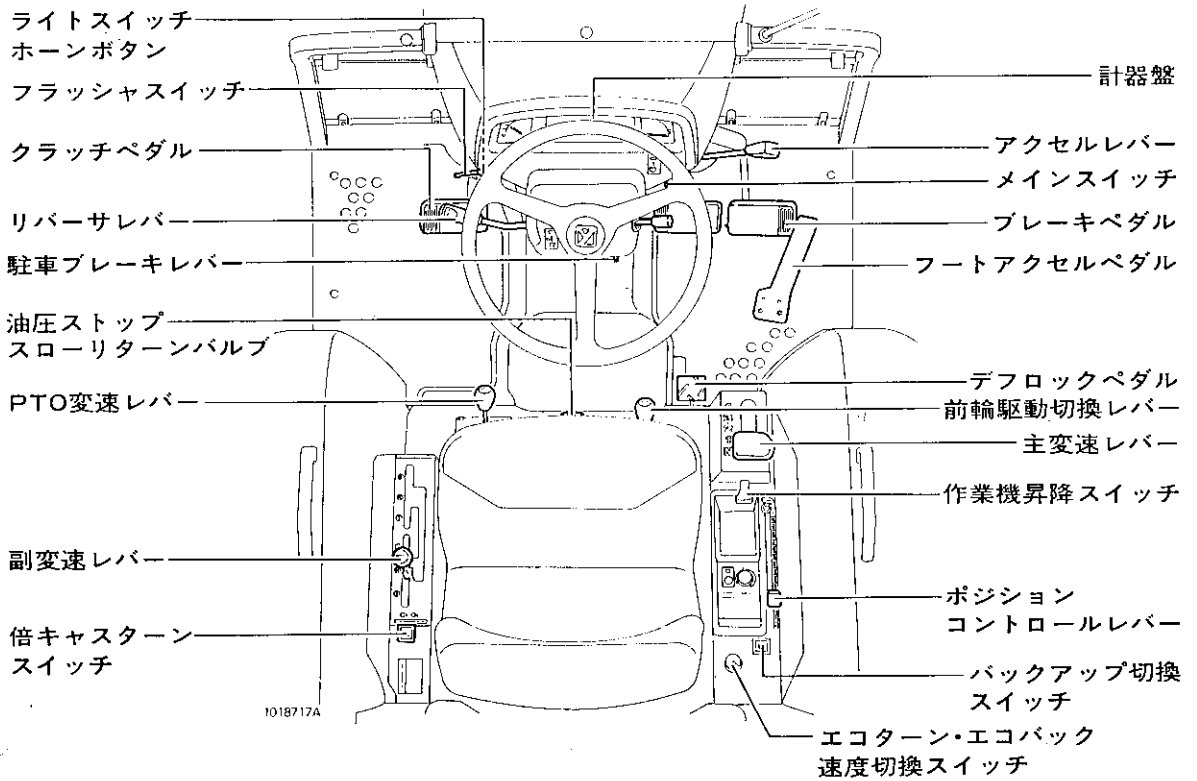
※エンジンおよび本機で封印されている所はさわらないでください。性能を大きく悪くするばかりか、封印が外れたと認められる場合は、一切の保証を受けられなくなります。

なお、詳しくは保証書をご覧くださいようお願いいたします。

各部のなまえ

●この取扱書の説明図は、本機AF-30Rを基準にしています。





エコトラUFOについて

1. 各部のなまえとはたらき

通常作業に必要なもの

ストッパー

ポジションコントロールレバーを「上昇」位置で固定するときまた、ポジションコントロールレバーの操作範囲を制限したいときに使用します。

作業機昇降スイッチ

ワンタッチで作業機の上げ下げが行なえます。ポジションレバーで下げ位置を設定すると、設定位置まで作業機が下降して停止します。

【取扱いの注意】

エンジンを停止しても、メインスイッチが「ON」の場合は、作業機昇降スイッチで下降します。

エコトラUFOボタン

ボタンを押すと、ランプが点灯し、深さ・傾き・負荷・エコモードを自動設定し、同時に下げクッション機能も働きます。このとき、パネルの表示ランプ「深さ」「傾き」「負荷」「エコモード」が点灯します。この状態で、通常の耕うん作業が行なえます。

エコターン・エコバック

速度切換スイッチ

エコモードでのエコターン（旋回）速度、およびエコバック（後進）速度が「速」、「中」、「遅」、の3段階に選択できます。

ポジションコントロールレバー

作業機を任意の位置に設定し、一定に保ちます。リフトランプが点灯しているときでもポジションコントロールレバーを一度、最上昇位置に操作してから作業機を下げるすることができます。

深さダイヤル

ロータリーの耕うん深さを調節します。

バックアップボタン

ランプが消灯時、ボタンを押すと、ランプが点灯し、バックアップ機構が働きます。

リバーサレバーを「R(後進)」位置に入れると、自動的に作業機が上がります。ランプ点灯時、ボタンを押すと、ランプが消灯し、バックアップ機構が解除されます。

▲ 注意

次のような作業では、バックアップ機構は解除してください。

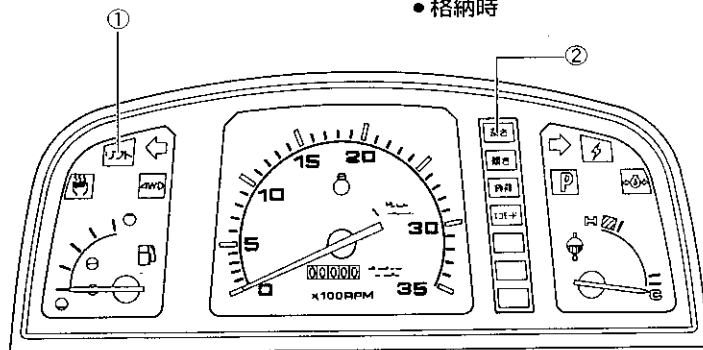
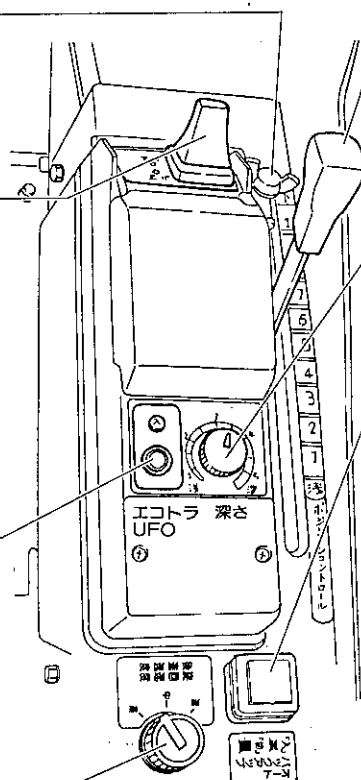
- トラックへの積み込み・積降ろし作業
- あぜ越え・ほ場への出入り作業
- 果樹園・ハウス内作業で支柱や木に当たる場合
- トレーラなど作業機を上下しない作業
- 一般道路走行時
- 格納時

①リフトランプ

リフトランプが点灯している場合は、自動が働きませんので、昇降スイッチを「下げ」側に操作して、ランプを消灯してください。

②深さ・傾き・負荷・エコモード表示ランプ

ランプが点灯しているときは、自動が働いています。

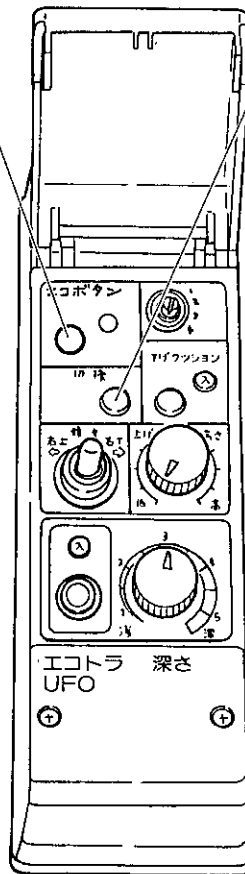


特定の作業に使うもの

作業条件を設定する必要がある場合は、カバーを開けて、調節してください。

エコボタン

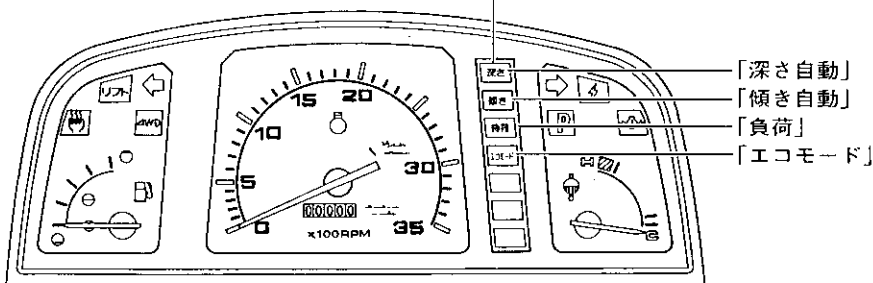
- 電子ガバナーの働きで、高速耕うんに適したエンジン出力性能となります。
- 作業機昇降スイッチを「上」にすると電子ガバナーの働きでエンジン回転が下がり減速し、旋回に適した速度となります。
- 作業機昇降スイッチを「下」にすると、あらかじめアクセルレバーで設定したエンジン回転に戻ります。
- リバーサレバーを「R(後進)」にすると電子ガバナーの働きでエンジンの回転が下がり減速し、後進に適した速度となります。
- ロータリー脱着時
パネルの表示ランプ「深さ」「傾き」「負荷」「エコモード」が点灯している場合は、エコトラUFOボタンを押して表示ランプを消灯状態にしてください。



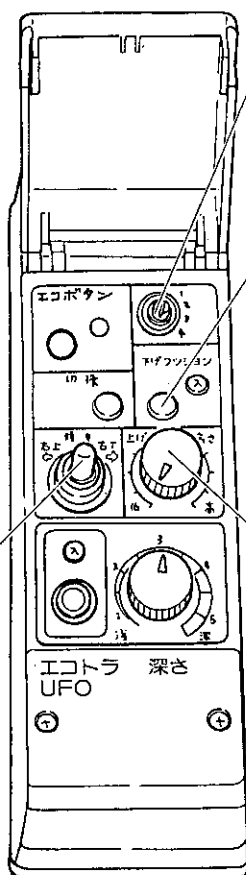
作業切換ボタン

- ボタンを押すと「深さ+傾き」「負荷+傾き」「深さ」「傾き」「負荷」自動に順次切り替わります。どのレンジに入っているかは、パネルの表示ランプに表示されます。
- 「深さ自動」
- オートロータリー使用時にロータリーの耕うん深さを一定に保ちます。
- 「傾き自動」
- トラクターの傾きにかかわらず、作業機を地面と一定の角度に保つことができます。また、作業機を最上げ付近に上げたときには、作業機は本機と平行になります。
- 「負荷」
- ロータリーの耕深を制御してエンジン負荷を一定に保ちます。
- 「エコモード」
- 電子ガバナーの働きで、高速でのロータリー作業に適したエンジン出力性能になります。
- 作業機昇降スイッチを「上」にすると電子ガバナーの働きでエンジン回転が下がり減速し、旋回に適した速度となります。作業機昇降スイッチを「下」にするとエンジン回転が元に戻ります。
- リバーサレバーを「R(後進)」位置にすると、電子ガバナーの働きでエンジンの回転が下がり減速し、後進に適した速度となります。

表示ランプ



特定の作業に使うもの



3P切換えスイッチ
作業機をつけかえたとき、その作業機によって定まる3点リンクの取付状態に応じて、スイッチを切換えます。(10ページ参照)

下げクッションボタン
「深さ」自動の場合、下げクッションの「作動」・「解除」を選択することができます。ボタン横のランプが点灯しているときは、下げクッションが働いています。深さダイヤルの設定位置に同調してクッションのきき始めの高さを自動調節します。

上げ位置ダイヤル
作業機昇降スイッチまたは、バックアップで作業機を上げたときの作業機の最上げ位置を設定します。

【取扱いの注意】
ポジションレバーを「最上げ」位置にしたときは、ダイヤル設定位置にかかわらず作業機は、最上げになります。

傾き設定スイッチ
作業機の傾きを任意に設定できます。

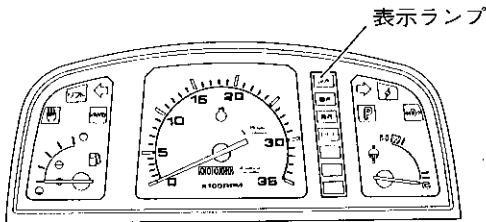
- 「傾き」自動で使用する場合
パネル表示ランプ「傾き」が点灯しているとき、設定スイッチを操作して、作業機を任意の角度に設定すれば、トラクターの傾きにかかわらず、作業機を地面と一定の角度に保つことが出来ます。
設定操作中に、作業機が地面に対して水平位置を通過する場合は、水平位置で一旦停止します。
- 「傾き」手で使用する場合
パネルの表示ランプ「傾き」が消灯しているとき、設定スイッチを操作して、作業機を任意の角度に設定すれば、トラクターにたいして水平位置を通過する場合には、平行位置で一旦停止します。

2. 基本的な使いかた

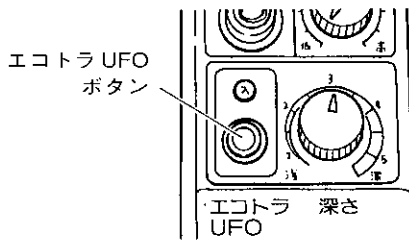
路上走行のとき

路上走行するときは、作業機が自然に下降したり、傾いたりしないように、次の処置を行ってください。

パネルの表示ランプが点灯している場合は、エコトラUFOボタンを押して、表示ランプ「深さ」・「傾き」・「負荷」・「エコモード」を消灯状態(手動)にしてください。

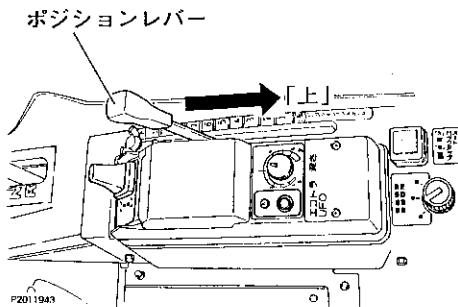


P2011939



【取扱いの注意】

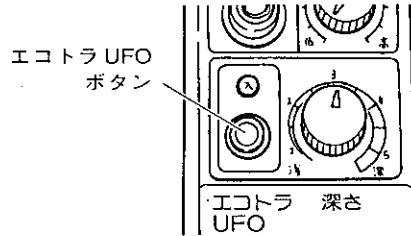
- 油圧ストップ・スローリターンバルブは開いたままで、ポジションコントロールレバーを上げ位置にして、ストッパーをセットして走行してください。



P2011943

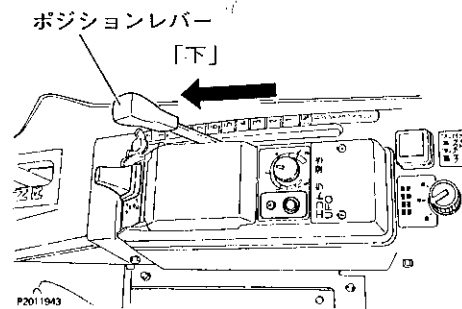
ロータリー作業

パネルの表ランプが消灯しているときは、エコトラUFOボタンを押して、「深さ」・「傾き」・「負荷」・「エコモード」のランプを点灯させてください。



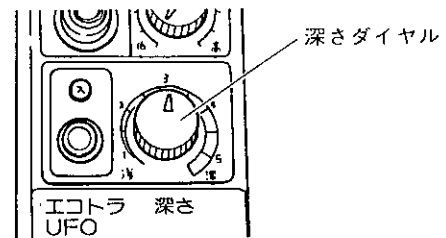
深さダイヤルで耕深を設定した後、作業機昇降スイッチでロータリーを下ろしてください。

※ポジションレバーは、最下げ「下」の位置にしておいてください。



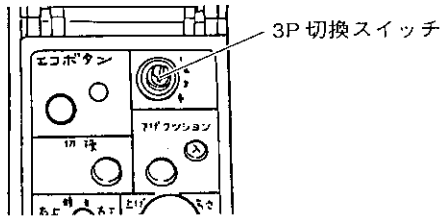
P2011943

実際の耕深を見ながら、希望の耕深でないときは、深さダイヤルで耕深を調節してください。



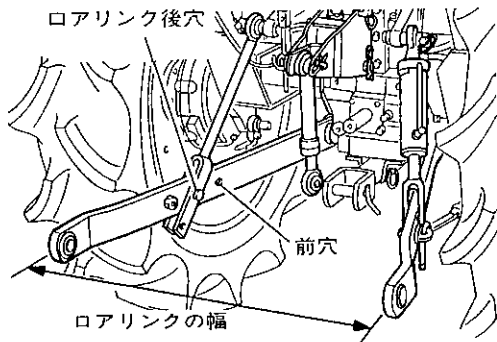
3. 3P切換えスイッチ

作業機をつけかえたとき、その作業機によって定まる3点リンクの取付状態(ロアリンク幅およびロアリンク穴位置)に応じて右表より選択し、その位置にスイッチを切換えてください。



※操作カバーを開けて、マイナスドライバを使って行ってください。

※作業機の取付けは作業機の取扱説明書に従って行ってください。



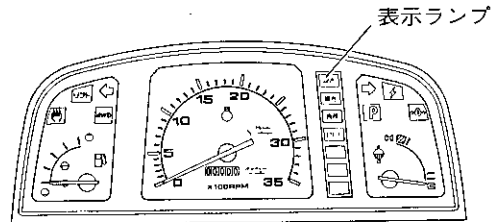
1025803C

AF-30R・AF-33(J)R・AF-35JR

3P切換えスイッチ	ロアリンク幅	ロアリンク穴位置	作業機別
	広 (718mm)	前	クイックヒッチ付 ロータリ 一般作業機
	広 (745mm)	後	クイックヒッチ付 ロータリ
	狭 (600mm)	前	クイックヒッチ無 ロータリ
	狭 (600mm)	後	クイックヒッチ無 ロータリ

4. センサ異常時の表示について

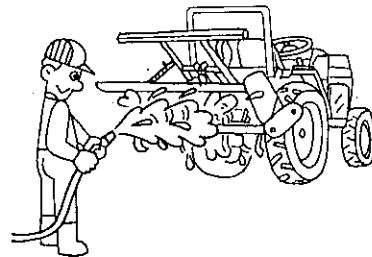
センサに異常が発生した場合は、パネルの表示ランプが点灯します。この場合は、正常作業が行えなくなりますので、ヤンマーの販売店までご連絡ください。



P2011939

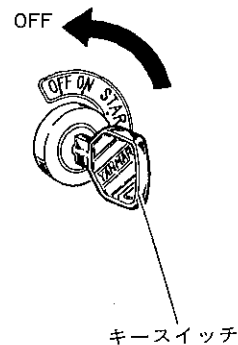
5. 使用後の手入れ

使用後洗車する場合(特に高速洗車)は、コントロールボックス・電磁バルブ・センサ類への直接洗車はさけてください。



P2011941

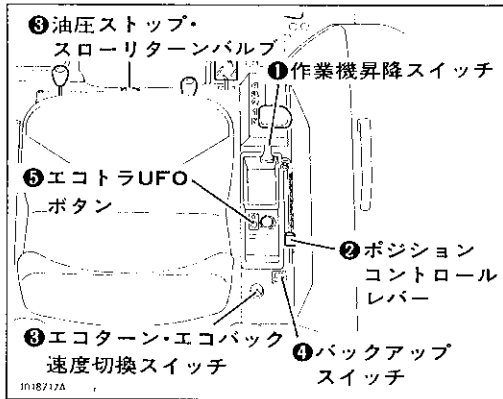
長期間保管の場合は、必ずキースイッチを「OFF」にしておいてください。



10132199

各部のなまえとはたらき

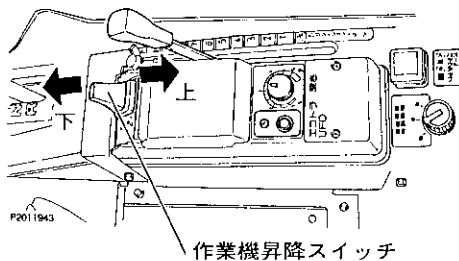
油圧・走行関係



① 作業機昇降スイッチ

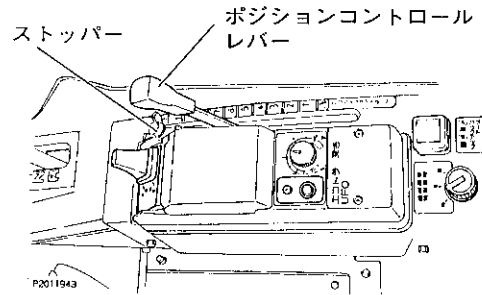
警告

- エンジンも停止しても、メインスイッチが「ON」位置の場合は、作業機昇降スイッチを「下げ」位置にすると下降します。
- 人が作業機の下にいないことや、足を踏み込んだりしていないことを確認してから操作してください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。



ワンタッチで作業機の上げ下げができます。ポジションコントロールレバーで下げ位置を設定すると、設定位置まで作業機が降下して停止します。

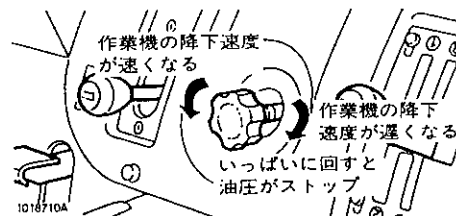
② ポジションコントロールレバー



作業機を任意の位置に設定し、一定に保ちます。リフトランプが点灯しているとき、ポジションコントロールレバーでは作業機は上がりません。

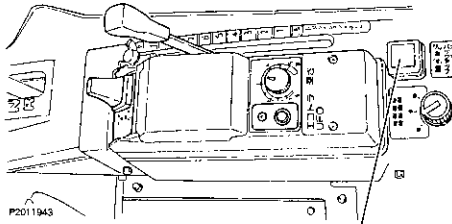
ストッパーは、ポジションコントロールレバーを「上昇」位置で固定するとき、またポジションコントロールレバーの操作範囲を制限したい時に使用します。

③ 油圧ストップ・スローリターンバルブ



作業機の下降速度を調節するのに使用します（スローリターン機能）。また、右へいっぱい回すと作業機昇降装置への油圧がストップします。

④バックアップスイッチ

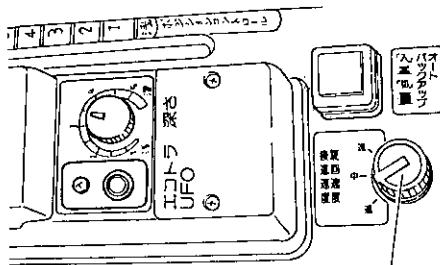


バックアップスイッチ

バックアップスイッチを押して「入（ランプ点灯）」にし、リバーサレバーを「R（後進）」位置にすると自動的に作業機が上昇します。再度バックアップスイッチを押して「切（ランプ消灯）」にすると、バックアップ装置は働きません。

⑤エコターン・エコバック速度切換スイッチ

エコモードでのエコターン（旋回）速度、およびエコバック（後進）速度が「速」、「中」、「遅」の3段階に選択できます。



エコターン・エコバック速度切換スイッチ

電装関係

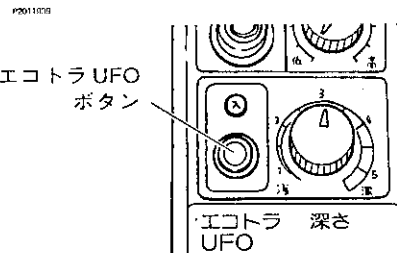
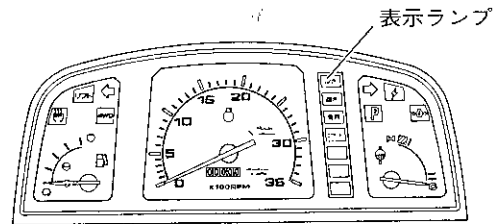
エコトラ UFO ボタン

警告

次のようなときはエコトラ UFO ボタンを押して、表示ランプ「深さ」・「傾き」を消灯状態（手動）にしてください。

- トラックへの積込み、積降ろし
- あぜ越え、ほ場への出入り
- 果樹園、ハウス内など支柱や木に当たる
とき
- 一般道路走行時
- 格納時
- 作業時の着脱・調整時

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。



エコトラ UFO ボタンを「入」にすると計器パネルのエコモードランプ（緑）が点灯します。

【エコモードでは】

- 電子ガバナーの働きで、高速耕うんに適したエンジン出力性能になります。
- 作業機昇降スイッチを「上」にすると電子ガバナーの働きでエンジン回転が下がり減速し、旋回に適した速度となります。作業機昇降スイッチを「下」にするとエンジン回転が元に戻ります。
- リバーサレバーを「R（後進）」位置にすると、電子ガバナーの働きでエンジンの回転が下がり減速し、後進に適した速度となります。

エコトラ UFO ボタンを「切」にすると、計器パネルのエコモードランプが消灯し、通常のエンジン出力性能となり、作業機昇降スイッチを「上」にしても、リバーサレバーを「R（後進）」にしてもエンジン回転は下がりません。

エコモードランプ（緑）

エコモード

エコトラ UFO ボタンを「入」にすると点灯してエコモードであることを表示します。エコモードのときエンジンに大きな負荷がかかると、点滅を始めロードモニターの役目をします。エコトラ UFO ボタンを「切」にすると消灯し、エコモードから通常モードになったことを表示します。

トラブルランプ（赤）

トラブル

電子ガバナーシステムに故障があったときに点滅し、異常を知らせます。システムに異常の無いときは消灯しています。このランプが点滅したら機械をお買い求めになった販売店または農協にお知らせください。

リフトランプ（橙）

リフト

作業機昇降スイッチ、バックアップ装置で作業機が上がっているときにランプが点灯します。

運転と作業のしかた

—必ず作業前の点検を行ってください。

1. エンジンの始動・停止のしかた

▲ 警告

- エンジン始動時は、かならず運転席に座ってレバーの位置と周囲の安全を確認してください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。
- 閉めきった室内ではエンジンを始動しないでください。エンジンは風通しのよい屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は、十分に換気をしてください。守らないと、排気ガスによる中毒をおこし、死亡事故をおこすおそれがあります。

▲ 注意

- 機械を使う前と後には、かならず点検・整備をしてください。特に、クラッチ・ブレーキ・レバーなどの操縦装置は、確実に作動するように点検・整備をしてください。守らないと、傷害事故をおこしたり、機械の故障をまねくおそれがあります。
- 暖気運転中は駐車ブレーキをかけてください。守らないと、何らかの原因でトラクターが走りだし、事故をおこすおそれがあります。

始動のしかた

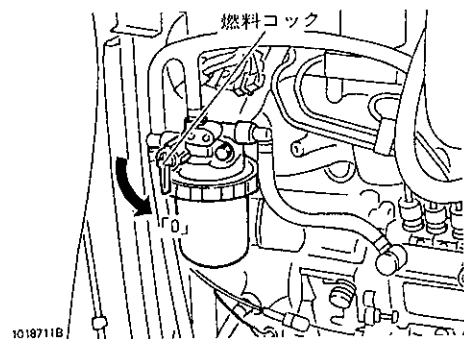
▲ 注意

- ポジションコントロールレバーが「下」位置でない場合、また、リフトランプが点灯しているときにはエンジンを始動しないでください。守らないと、作業機が急に上がって、傷害事故をおこすおそれがあります。

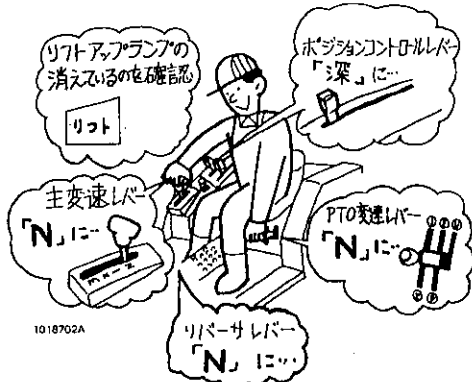
【取扱いの注意】

- セルモータは、大電流を消費しますので、10秒以上の連続使用は絶対にしないでください。
(10秒以内で始動しなかった場合は、いったんスイッチを切って1分以上休止してから、⑥の操作を繰返してください。)
- エンジン回転中は、絶対にメインスイッチを「START」(スタート)位置にしないでください。

- ① ボンネットを開け、エンジンサイドカバーを開けます。
- ② 燃料コック「0」の位置にします。(開の状態)

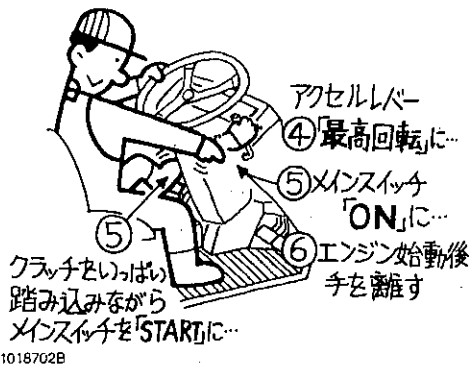


- ③主変速レバー・副変速レバー・リバーサレバーを「中立」、PTO 変速レバーを「中立」位置にします。
- ④ポジションコントロールレバーを「深」の位置にし、メインスイッチを「ON」位置にして、計器パネルのリフトランプが消えていることを確認してください。



※リフトランプが点灯しているときは、油圧昇降スイッチを下降側に操作してください。ランプは消灯します。

- ⑤アクセルレバーを「最高回転」位置にします。
- ⑥サーモスタートランプが消灯してからクラッチペダルをいっぱい踏込んで、メインスイッチを「START」(スタート)位置にします。
- ⑦エンジンが始動したら、すみやかにメインスイッチから手を離してください。

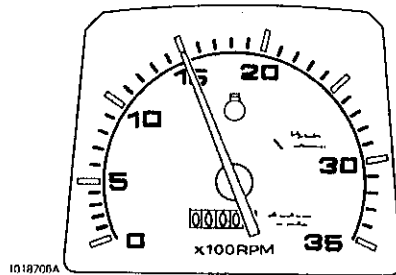


※エンジンが暖まっているときは、サーモスタートランプは瞬時に消えます。

※安全スイッチの働きによりクラッチペダルをいっぱい踏込まないとセルモータが回りませんのでエンジンの始動ができません。

- ⑧アクセルレバーでエンジンを1500回転ぐらいに下げ、約5分間は負荷をかけずに暖機運転を行なってください。

エンジン回転計



停止のしかた

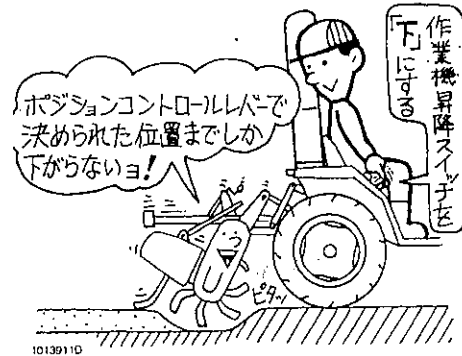
- ① アクセルレバーを「低速回転」位置にして、メインスイッチを「OFF」位置にするとエンジンが停止します。



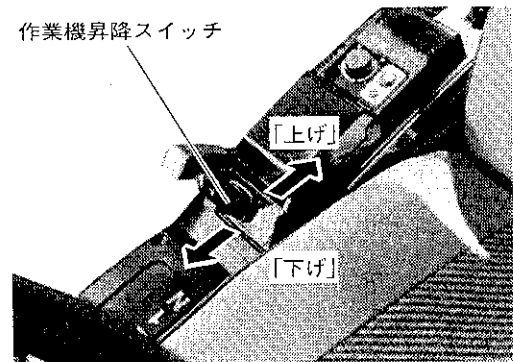
2. 作業機を上下させるには

作業機を上下させるには、ポジションコントロールレバーまたは、作業機昇降スイッチを使用します。(ほ場外ではポジションコントロールレバーで上下してください。)

作業機昇降スイッチを「上げ」位置に操作すると作業機は上がり、リフトランプが点灯します。「下げ」位置にすると作業機はポジションコントロールレバーで決められた位置まで下がり、リフトランプが消えます。



作業機昇降スイッチ



【取扱いの注意】

- ポジションコントロールレバーが最上昇位置にあるときは、作業機昇降スイッチを操作しても作業機は下がりません。ポジションコントロールレバーを「下げ」方向に操作し、作業機を下げてください。
- 作業機昇降スイッチ、バックアップ装置で作業機を上昇させたあと、作業機を下げるには、作業機昇降スイッチを「下げ」位置にするか、ポジションコントロールレバーを一度、最上昇位置に操作した後「下げ」方向に操作してください。

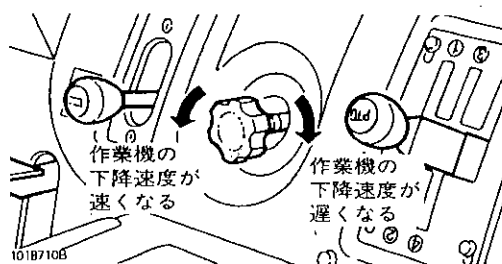
3.作業機の降下速度の調節のしかた

⚠ 警告

- 作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。守らないと、何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故をおこすおそれがあります。

作業機の降下速度を調節する場合は、油圧ストップ・スローリターンバルブを「左」方向へ回すと速く降り、逆に「右」方向へ回すと作業機の降下速度は遅くなります。

「右」方向へいっぱいまで回すと油圧がストップされ、作業機は下がりません。



【取扱いの注意】

- 路上走行するときは、油圧ストップ・スローリターンバルブは開いたままで、ポジションコントロールレバーを「上」位置にして、ストッパーでロックして走行してください。
- 油圧ストップ・スローリターンバルブを閉じたまま、ポジションコントロールレバーを操作しないでください。油圧部品の破損につながります。

4.バックアップ装置の使いかた

警告

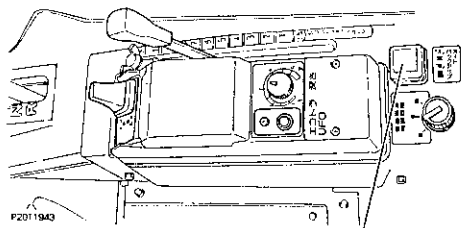
次のようなときは、バックアップ装置は使用しないでください。

- トラックへの積込み、積降ろし
- あぜ越え、ほ場への出入り
- 果樹園、ハウス内など支柱や木に当たるとき
- 一般道路走行時
- 格納時
- 作業時の着脱・調整時

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

バックアップ装置を使用しますと、枕地や回り耕などでバックするときに能率良く作業ができます。

バックアップスイッチを押してバックアップ「入」(ランプが点灯)の状態のとき、リバーサレバーを「R」に入れると作業機が自動的に上がります。作業機を降ろすときは、作業機昇降スイッチを「下げ」位置にします。ゆっくり降ろしたい場合は、ポジションコントロールレバーを一度最上昇位置に操作した後、「下降」方向に操作してください。



バックアップスイッチ

バックアップ装置を使用しないときは、バックアップスイッチを押して「切」(ランプ消灯)にしてください。

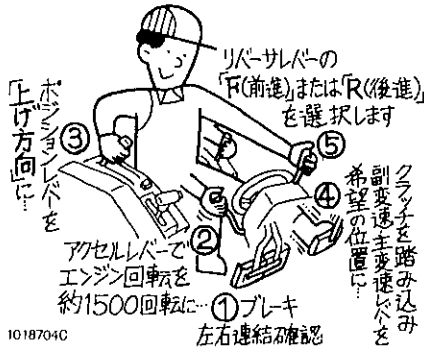
5.発進・停止・駐車のしかた

警告

- 発進するときは、周囲の人に合図して周囲の安全を確認した上で、急発進しないようにゆっくり発進してください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。
- 移動走行時には、かならず左右のブレーキペダルを連結金具で連結してください。守らないと、ブレーキが片ぎきし、急旋回したり、転倒したりするおそれがあります。
- トラクターからはなれるときには、平坦で安定した場所に置き、かならず駐車ブレーキをかけ、リバーサレバーと副変速レバーを「中立」位置にし、作業機を接地させてエンジンを止め、車止めをしてください。守らないと、トラクターが動きだし、事故をおこすおそれがあります。

発進のしかた

- ①ブレーキペダルが連結金具で、左右連結されていることを確認します。
- ②アクセルレバーでエンジン回転を約1500回転ぐらいにします。
- ③ポジションコントロールレバーを「上げ」方向に操作して、作業機を最高位置に上げます。
- ④クラッチペダルを踏込んで、副変速レバー・主変速レバーを希望の位置に確実に入れます。速度は52ページを参照してください。
- ⑤リバーサレバーを「F」または「R」に入れます。



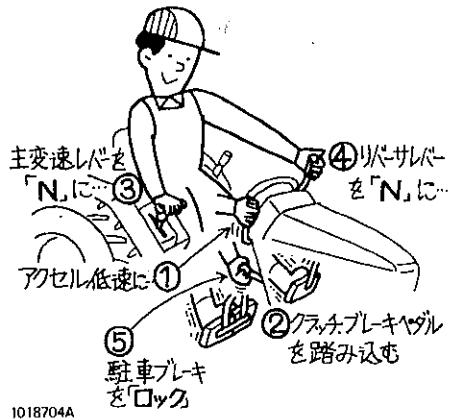
- ⑥クラッチペダルをゆっくり離しますと、トラクターが動き始めます。

【取扱いの注意】

- 走行中・作業中は、絶対にクラッチペダルを上に乗せないようにしてください。
- パワーシフト仕様は、クラッチを踏まずに主変速レバー・リバーサレバーを操作できます。副変速は停止して、クラッチを踏んでから変速してください。
- パワーシフト仕様以外は走行中に変速はできません。必ず止まって変速してください。

停止・駐車のしかた

- ①アクセルレバーを低速側に戻して、スピードを落とします。クラッチペダルとブレーキペダルを踏み込んで停止し、主変速レバー・副変速レバー・リバーサレバーおよびPTO 変速レバーを「中立」位置にします。
- ②左右のブレーキが連結金具で連結されていることを確認し、ブレーキを踏込み、駐車ブレーキロックレバーを引いて、ブレーキをロックします。
- ③作業機を取付けている場合は、作業機昇降スイッチを「下げ」に操作し、ポジションコントロールレバー、オートコントロールレバーを「解除」（下げ）方向に操作して作業機を降ろしてください。



- ④メインスイッチキーを「OFF」にして、エンジンを停止します。

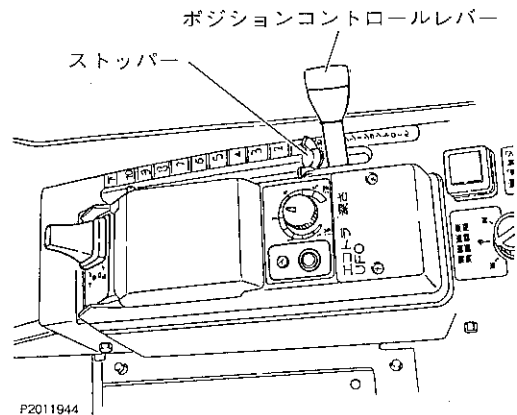
6.道路走行のしかた

警告

- 路上走行時やあぜ越え時にはかならず左右のブレーキペダルを連結金具で連結してください。守らないと、ブレーキが片ぎきし、急旋回や転倒するおそれがあります。
- 公道を走行するときは、道路交通法など関係法規を厳守してください。守らないと、事故をおこすおそれがあります。
- このトラクターの乗車定員は1名です。運転者以外に人を乗せないでください。守らないと、事故をおこすおそれがあります。
- 路上走行時は、バックアップスイッチ、エコトラUFOボタン、倍キャストーンスイッチを「切」にしてください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。

注意

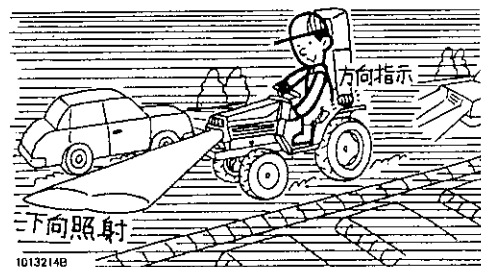
- 公道走行するときは、ロータリーなどの作業機を取り外してください。守らないと、道路交通法違反で、事故をおこすおそれがあります。
- PTO 変速レバーを「中立」位置にして、必ず左右のブレーキペダルを連結してください。
- 道路走行時または、油圧を上げ位置でロックしたい場合、上げ規制ストッパーを図の位置にセットし、ポジションコントロールレバーをストッパーの上に移動させてください。



- 走行スピードはフットアクセルペダルで調節してください。
- 進路変更するときは、フラッシュスイッチによって進行方向を他の車に知らせなければなりません。
- バックミラーで後続車に注意し、追い越し妨害にならないようにしてください。
- 狭い農道や傾斜地、路肩に草が生い茂っている所は、路肩に十分注意して、スピードを落として走行してください。
- 倍キャストーンスイッチを「切」位置（ランプが消灯している状態）にして、倍キャストーンが働かない状態で走行してください。

※ランプが点灯しているときは、スイッチを押すと消灯します。

- 夜間走行時、対向車とすれ違うときは、ライトスイッチを下方照射とし、対向車の妨害にならないようにしてください。



7. 坂道での運転のしかた

警告

- あらかじめ適正な速度段を選択し、坂道の上では、変速をしないでください。
- 坂道ではリバーサレバー・主変速レバー・副変速レバーを「中立」位置にしないでください。
- 坂道では駐車しないでください。守らないと、トラクターが坂をすべり落ちて、事故をおこすおそれがあります。
- 坂道では、スピードに十分注意して、ゆっくりと走行してください。急な下り坂ではエンジブレーキを活用してください。
- 坂の途中ではクラッチペダルを踏まないでください。トラクターがすべり落ちて大変危険です。
- 上り坂で発進する場合は、遅い変速位置に入れ、エンジン回転を落してゆっくりと発進してください。急発進すると、前輪がはね上がり大変危険です。
- 変速は坂を登りつめてから、希望する変速位置に入れ直してください。坂の途中で停車する場合は、駐車ブレーキでロックしてください。



10132140

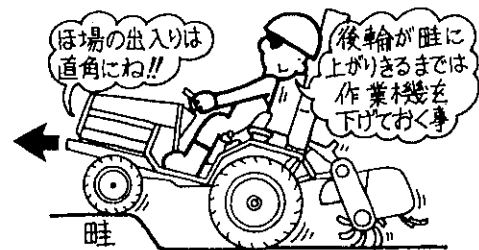
8. ほ場への出入りのしかた

警告

- かならず左右のブレーキペダルを連結金具で連結してください。守らないと、ブレーキが片ざきし、転倒するおそれがあります。
- ほ場への出入り、あぜ越えや段差を乗り越えるときは、十分強度のあるあゆみ坂を使用し、作業機を下げ重心を低くしてください。
- 急な傾斜を登る場合は、後進で、降りる場合は前進で行ってください。
- バックアップスイッチ、エコトラUFOボタン、倍キャストスイッチは「切」にしてください。

守らないと、バランスをくずし、転倒・転落のおそれがあります。

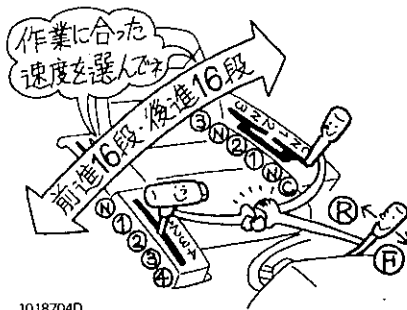
ほ場への出入りは、ほ場に対して直角に出入りしてください。登り始めは、作業機を低くして重心を下げ、トラクターの前後輪が完全にあぜに上がってから作業機を上げてください。



10132110

9.作業に適した速度の選びかた

主変速レバーと副変速レバーとリバーサレバーの組合せにより、前進16段・後進16段の速度が選べます。下表を参考にして、作業に合った速度を選んでください。



1018704D

作業速度段の選び方

変速段数	主変速	副変速	作 業
1	1	C	深ロータリー トレンチャ
2	2		
3	3		ロータリー
4	4		
5	1	1	ロータリー
6	2		
7	3		
8	4	1	代かき、ロータリー
9	1		
10	2	2	代かき、ロータリー
11	3		
12	4	2	ブラウ
13	1		
14	2	3	トレーラ・路上走行
15	3		
16	4		

【取扱いの注意】

〈副変速レバー「C」位置（クリーブ変速）の使用について〉

クリーブ速度は使用と取扱いを誤ると故障の原因になります。次のことに注意して使用してください。

(1)使用できる作業

- ロータリーでの深耕、細土耕うん作業
- ロータリー耕うんで、ほ場が硬く標準速度で耕うんできないとき
- プランタによる移植作業
- 農業用トランチャによる作業
- トラックへの積降し

(2)使用できない作業（故障の原因となります）

- 湿田での脱出時
- 重けん引作業
- フロントローダ作業
- フロントブレード作業
- 土木作業

(3)発進・停止時について

クリーブ速度では車軸の回転が大変強くなるので、ブレーキペダルだけを強く踏んでもブレーキはききません。また、故障の原因となりますので、必ず次のことを守ってください。

- 発進は駐車ブレーキを必ず外してから行ってください。
- 停止はクラッチペダルを踏んで、クラッチを切ってからブレーキをかけてください。

10. ほ場での旋回のしかた

⚠ 警告

- かならず、デフロックを切って旋回してください。守らないと、思うように旋回ができずに事故をおこすおそれがあります。

ほ場での旋回は、左右ブレーキペダルを連結させている連結金具を外し、ハンドルを切ると同時に旋回しようとする側のブレーキペダルを踏込むと、小回りができます。作業機は上げて旋回してください。



1013213A

倍キャストーンの使いかた

倍キャストーンは畑、水田などのロータリー作業には役立ちますが、使用法を誤ると転倒などの危険や、故障の原因ともなります。次の点に、特に注意してください。

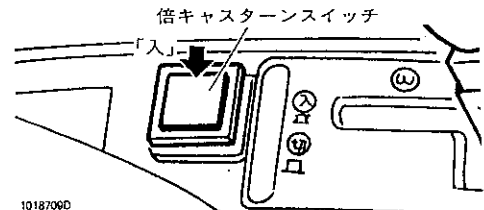
⚠ 警告

- ハイグリップターンレバー「入」の状態では、路上走行や傾斜地では、使用しないでください。
 - ほ場から出る前にならず、ハイグリップターンレバーを「切」にしてください。
- 守らないと転倒などの事故を起こすおそれがあります。

倍キャストーンを使うと、スムーズに小まわりができ、「旋回跡が荒れない」「旋回径が小さい」「旋回時間が短い」などの特長を生かします。

副変速レバーが「C」「1」「2」速で、前輪駆動レバーが「入」のときに倍キャストーンスイッチを押すと、ランプが点灯し、倍キャストーンが働きます。

倍キャストーンスイッチをもう一度押すとランプが消灯し、倍キャストーンは働かない状態になります。

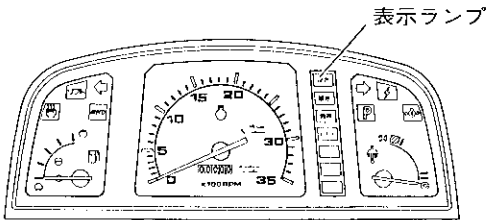


1018706D

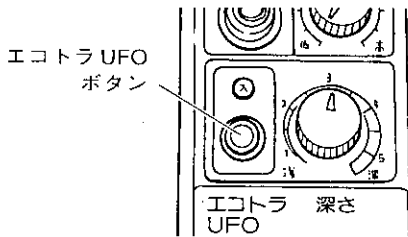
11. エコモードの使いかた

警告

次のようなときは、エコトラ UFO ボタンを押して、表示ランプ「深さ」・「傾き」・「負荷」・「エコモード」を消灯状態（手動）にしてください。



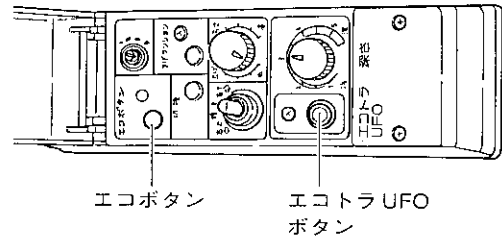
P20111030



- トラックへの積込み・積降ろし
- あぜ越え、ほ場への出入り
- 一般道路走行時
- 格納時
- 作業機の着脱、調整時

守らないと傷害事故をおこすおそれがあります。

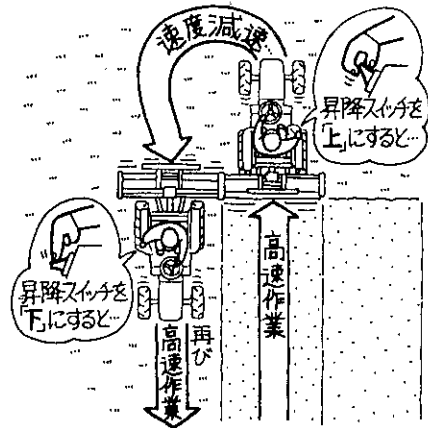
高速耕うんを行うときに使用します。
エコトラ UFO ボタンを「入」にするか、エコボタンを「入」にしてください。計器パネルのエコモードランプ（緑）が点灯し、エコモード（高速耕うんモード）となります。



〈エコモードでの機能〉

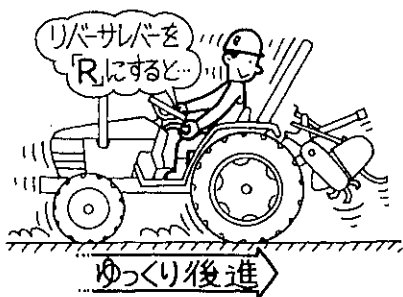
- 電子ガバナーの働きで、高速耕うんに適したエンジン出力性能となります。
- 作業機昇降スイッチを「上」にすると電子ガバナーの働きでエンジン回転が下がり減速し、旋回に適した速度となります。（エコターン）

作業機昇降スイッチを「下」にすると、あらかじめアクセルレバーで設定したエンジン回転に戻ります。



2011201

- リバーサレバーを「R (後進)」にすると電子ガバナの働きでエンジンの回転が下がり減速し、後進に適した速度となります。(エコバック)
リバーサレバーを「N (中立)」または、「F (前進)」にしてもエンジンは元の回転に戻りません。



2011202

エコトラ UFO ボタンまたは、エコボタンを「切」にすると計器パネルのエコモードランプ (緑) が消灯し、通常のエンジン出力性能となり、作業機昇降スイッチを「上」にしても、リバーサレバーを「R (後進)」にしてもエンジン回転は下がりにません。

【取扱いの注意】

- エコモード「入」の状態、作業機昇降スイッチを「上」あるいはリバーサレバーを「R (後進)」にして、エンジン回転が下がった状態でアクセルレバーをいったん低速方向に動かし、エンジン回転を 1500rpm 以下にした後は、アクセルレバーで任意のエンジン回転数にセットできます。
- エコモード「入」の状態、作業機昇降スイッチを「上」あるいはリバーサレバーを「R (後進)」にして、エンジン回転が下がった状態で「エコモード」を「切」にしても、計器パネルのエコモードランプは消灯せず、エンジン回転も下がったままでエコモードを維持します。アクセルレバーをいったん低速方向に動かし、エンジン回転を 1500rpm 以下にするとエコモードランプは消灯し、エコモードは解除され、アクセルレバーで任意のエンジン回転数にセットできます。



P2011936

- エコターン、エコバックの速度は旋回速度切換スイッチで「速」・「中」・「遅」の3段階に選択できます。

12. 高速耕うんに適した車速

高速耕うんを行うときは、エコボタンを「入」にし、以下の速度を選んでください。

副変速	主変速	車 速	
		km/h	m/s
II	1	1.87	0.52
	2	2.56	0.71
	3	3.24	0.90

車速はエンジン定格回転（2800rpm）時の値です。

【取扱いの注意】

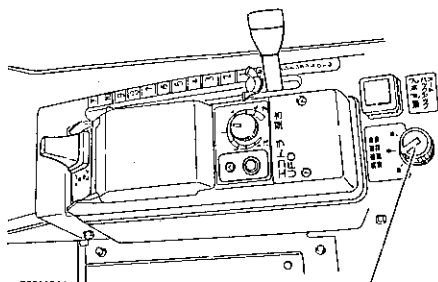
- 耕深や土質の関係でエンジン負荷が大きくなるとエコモードランプが点滅します。そのときは車速を1段落としてください。



P2011937

〈エコターーン・エコバックの設定〉

- エコモードで高速耕うん時、旋回速度または後進速度を3段に調節できます。速いと感じるときは、旋回速度切換スイッチを「遅」の方へ回し、旋回速度または後進速度を落としてください。



P2011944

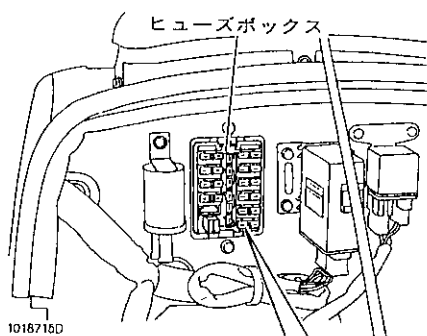
旋回速度切換スイッチ

定期の点検・調整について

1. ヒューズ・ヒューズブルリンクの点検・交換について

ヒューズボックスのふたを外して、ヒューズを点検してください。切れていれば、規定容量のものと交換してください。

また、エンジンを停止して、メインヒューズ（ヒューズブルリンク）を点検してください。ヒューズブルリンクはヒューズの種類で万一、配線回路（常時通電している回路）へ過大電流が流れた場合、溶断して電流をしゃ断します。溶断したら外被（ビニール）が変色しますので、お買い上げいただいた販売店、または農協で点検を受けてください。



ヒューズボックス		
ハイグリップ パネル10A	予備15A	ターン 5A
UFO 5A (ラジカセ5A)		コントローラ 5A
	予備10A	ワークランプ 5A
コンセント 20A		燃料ポンプ 5A
(エアコン) 20A	予備5A	(キャビン) 10A
		ヘッドランプ 15A

仕様

AF-30R・AF-33R

項目		形式		備考		
		AF-30R	AF-33R			
重	車両重量	1380	1430	3P付		
	荷重(kg)	前輪	630	640		
		後輪	750	790		
景	附荷重量(kg)	後輪	20kg × 2 + 25kg × 4	アタッチメント		
		本体	20kg × 6	アタッチメント		
機関出力 (PS/prm)		30/2800	33/2800			
形状		ホイールトラクター				
車種		小型特殊自動車				
性能	走行速度 km/h (m/sec)	前	C 1速	0.22(0.062)	0.22(0.063)	最高速度 AF-30 13.9km/h AF-33 14.2km/h
			C 2速	0.31(0.085)	0.31(0.087)	
			C 3速	0.39(0.109)	0.40(0.112)	
			C 4速	0.51(0.142)	0.52(0.145)	
			1速	0.69(0.193)	0.71(0.196)	
			2速	0.95(0.264)	0.96(0.268)	
		進	3速	1.21(0.336)	1.23(0.342)	
			4速	1.57(0.437)	1.60(0.445)	
			5速	1.86(0.517)	1.89(0.526)	
			6速	2.55(0.708)	2.60(0.722)	
			7速	3.24(0.901)	3.30(0.918)	
			8速	4.36(1.212)	4.30(1.195)	
	後	9速	5.71(1.586)	5.81(1.615)		
		10速	7.83(2.174)	7.97(2.214)		
		11速	9.96(2.768)	10.15(2.819)		
		12速	12.96(3.602)	13.20(3.668)		
		進	CR 1速	0.21(0.059)	0.22(0.060)	
			CR 2速	0.29(0.081)	0.30(0.083)	
			CR 3速	0.37(0.104)	0.38(0.106)	
			CR 4速	0.49(0.136)	0.50(0.138)	
R 1速			0.66(0.183)	0.67(0.187)		
R 2速			0.90(0.251)	0.92(0.256)		
進		R 3速	1.15(0.320)	1.17(0.326)		
		R 4速	1.50(0.416)	1.53(0.424)		
	R 5速	1.77(0.492)	1.80(0.501)			
	R 6速	2.43(0.675)	2.47(0.687)			
	R 7速	3.09(0.858)	3.15(0.875)			
	R 8速	4.02(1.118)	4.10(1.138)			
	R 9速	5.44(1.511)	5.53(1.538)			
	R 10速	7.45(2.071)	7.59(2.109)			
	R 11速	9.49(2.637)	9.66(2.685)			
	R 12速	12.35(3.431)	12.58(3.493)			

※この仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。

※走行速度はハイラグタイプ仕様

項目		形式		備考	
		AF-30R	AF-33R		
機体寸法	全長 (mm)	3180		ロアリンクまで	
	全幅 (標準仕様) (mm)	1470		安全フレームまで	
	全高 (mm)	1935	1960	安全フレームまで	
	軸距 (mm)	1800			
	輪距	前輪 (mm)	1220		
		後輪 (mm)	1150~1500(6段)		
	最低地上高 (mm)	320	345		
	銘柄型式	3TNS84-RA	3TNS84-RN		
	種類	ディーゼル			
	冷却方式	水冷ラジエタ			
シリンダ数	3				
内径×行程 (mm)	84×90				
総排気量 (cc)	1496				
燃料系統	噴射ポンプ	ポッシュ			
	噴射弁形式	セミスロットル			
	燃料	ヤンマー重油または、ディーゼル軽油			
燃料タンク容量 (ℓ)	38				
潤滑系統	潤滑方式	トロコイドポンプ圧送式			
	潤滑油量 (ℓ)	4.0			
冷却水量 (ℓ)	6.0		サブタンク仕様		
電気系統	充電発電機 (V-W)	12-420			
	始動発電機 (V-KW)	12-1.2			
	蓄電池 (V-Ah)	12-70			
動力伝動部	主クラッチ	乾式単板			
	変速機潤滑油量 (ℓ)	38	38		
	差動装置形式	傘歯車式(デフロック付)			
終減速機形式	平歯車				
走行装置	車輪	前輪	8-16	8-18	
		後輪	12.4-28 12.4-26H	12.4-28(H) 13.6-26(H)	
	かじ取装置	全油圧パワーステアリング			
足ブレーキ	湿式ディスクブレーキ				
駐車ブレーキ	ペダルロック式				
運転装置	計器類及び照明装置	アウメータ、水温計、フラッシュパイロットランプ、チャージパイロットランプ、オイルパイロットランプ、燃料計、前照灯、ホーン、方向指示灯、尾灯、サーモパイロットランプ、リフトアップランプ、駐車パイロットランプ、4WDパイロットランプ			
動力取出軸	回転方向	右回り(軸に向かって)			
	軸寸法 (mm)	JIS 35			
		軸回転速度 (rpm)	正転	595, 816, 1039, 1352	
		逆転	749		
その他駆動部	なし				
作業装置	けん引装置形式	ピン固定式		オプション	
	装着装置の種類規格	3点リンク JIS 1形			
	標準ロータリ耕幅 (mm)	RSC1704:1700, RCC1704:1700			
油圧制御方式	ポジションコントロール付				
安全フレーム	2柱式				

AF-33JR・AF-35JR

項目		形式		備考	
		AF-33JR	AF-35JR		
重 量	車両重量	1470		3P付	
	荷重(kg)	前輪	670		
		後輪	800		
	附荷重量(kg)	後輪	20kg × 2 + 25kg × 4		アタッチメント
本体		20kg × 6		アタッチメント	
機関出力 (PS/prm)		33/2800	35/2800		
形状		ホイールトラクタ			
車種		大型特殊自動車			
性 能	前 進	C-1速	0.223(0.062)	0.230(0.064)	
		C-2速	0.310(0.086)	0.317(0.088)	
		C-3速	0.392(0.109)	0.403(0.112)	
		C-4速	0.511(0.142)	0.526(0.146)	
		1速	0.695(0.193)	0.713(0.198)	
		2速	0.950(0.264)	0.976(0.271)	
		3速	1.210(0.336)	1.242(0.345)	
		4速	1.573(0.437)	1.616(0.449)	
		5速	1.858(0.516)	1.908(0.530)	
		6速	2.549(0.708)	2.617(0.727)	
		7速	3.244(0.901)	3.330(0.925)	
		8速	4.223(1.173)	4.334(1.204)	
		9速	5.710(1.586)	5.861(1.628)	
		10速	7.826(2.174)	8.035(2.232)	
		11速	9.965(2.768)	10.231(2.842)	
		12速	12.967(3.602)	13.313(3.698)	
	13速	11.498(3.194)	11.804(3.279)		
	14速	15.764(4.379)	16.186(4.496)		
	15速	20.070(5.575)	20.606(5.724)		
	16速	26.122(7.256)	26.816(7.449)		
	後 進	C-1速	0.212(0.059)	0.220(0.061)	
		C-2速	0.295(0.082)	0.302(0.084)	
		C-3速	0.374(0.104)	0.385(0.107)	
		C-4速	0.486(0.135)	0.500(0.139)	
		1速	0.662(0.184)	0.680(0.189)	
		2速	0.904(0.251)	0.929(0.258)	
		3速	1.152(0.320)	1.184(0.329)	
		4速	1.501(0.417)	1.541(0.428)	
		5速	1.771(0.492)	1.818(0.505)	
		6速	2.426(0.674)	2.491(0.692)	
		7速	3.089(0.858)	3.172(0.881)	
		8速	4.021(1.117)	4.129(1.147)	
9速		5.440(1.511)	5.584(1.551)		
10速		7.456(2.071)	7.654(2.126)		
11速		9.493(2.637)	9.745(2.707)		
12速		12.352(3.431)	12.679(3.522)		
13速	10.951(3.042)	11.243(3.123)			
14速	15.016(4.171)	15.415(4.282)			
15速	19.116(5.310)	19.627(5.452)			
16速	24.876(6.910)	25.538(7.094)			

*この仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。
*走行速度はハイラグタイプ仕様。

項目		形式		備考	
		AF-33JR	AF-35JR		
機 体 寸 法	全長 (mm)	3180		ロアリンクまで	
	全幅 (標準仕様) (mm)	1485		安全フレームまで	
	全高 (mm)	1960		安全フレームまで	
	軸距 (mm)	1800			
	輪距	前輪 (mm)	1210		
		後輪 (mm)	1150~1500(6段)		
	最低地上高 (mm)	345			
機 関	銘柄型式	3TNS84-RA	3TNS84-RN		
	種類	ディーゼル			
	冷却方式	水冷ラジエタ			
	シリンダ数	3			
	内径×行程 (mm)	84×90			
	総排気量 (cc)	1496			
	燃料系統	噴射ポンプ	ボッシュ		
		噴射弁形式	ゼミスロットル		
		燃料	ヤンマー重油または、ディーゼル軽油		
	燃料タンク容量 (ℓ)	38			
潤滑系統	潤滑方式	トロコイドポンプ圧送式			
	潤滑油量 (ℓ)	4.0			
冷却水量 (ℓ)	6.0		サブタンク仕様		
電気系統	充電発電機 (V-W)	12-420			
	始動発電機 (V-KW)	12-1.2			
	蓄電池 (V-Ah)	12-70			
動力伝動部	主クラッチ	乾式単板			
	変速機潤滑油量 (ℓ)	40	40		
	差動装置形式	傘歯車式(デフロック付)			
	終減速機形式	平歯車			
走行装置	車輪	前輪	8-16	8-18	
		後輪	12.4-28 12.4-26H	12.4-28(H) 13.6-26(H)	
	かじ取装置	全油圧パワーステアリング			
	足ブレーキ	湿式ディスクブレーキ			
駐車ブレーキ	ペダルロック式				
運転装置	計器類及び照明装置	アウメータ、水温計、フラッシュバイロッドランプ、チャージバイロッドランプ、オイルバイロッドランプ、燃料計、前照灯、ホーン、方向指示灯、尾灯、サーモバイロッドランプ、リフトアップランプ、駐車バイロッドランプ、4WDバイロッドランプ			
	回転方向	右回り(軸に向かって)			
動力取出軸	軸寸法 (mm)	JIS 35			
	軸回転速度 (rpm)	正転	595、816、1039、1352		
		逆転	749		
その他駆動部	なし				
けん引装置形式	ピン固定式		オプション		
作業機装置	装置装置の種類規格	3点リンク JIS I 形			
	標準ロータリ耕幅 (mm)	RSC1704:1700、RCC1704:1700			
油圧制御方式	ポジションコントロール付				
安全フレーム	2柱式				



ヤンマ-農機株式会社

- 本社 〒530 大阪市北区茶屋町1番32号
- 札幌支店 〒060 札幌市中央区北4条西2丁目1番地の3
電話 (011)221-6138 FAX (011)221-6235
- 仙台支店 〒984 仙台市若林区六丁の目元町16番1号
電話 (022)288-7711 FAX (022)288-8972
- 東京支店 〒362 上尾市春日1丁目32番1号
電話 (048)776-3211 FAX (048)776-3888
- 新潟支店 〒940 長岡市城岡3丁目31番3号
電話 (0258)24-7920 FAX (0258)24-6114
- 金沢支店 〒920-01 金沢市今町ワ48番地
電話 (0762)57-3800 FAX (0762)57-6410
- 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3丁目14番16号(東洋ビルディング6階)
電話 (052)571-1177 FAX (052)571-2620
- 大阪支店 〒530 大阪市北区茶屋町1番32号
電話 (06)376-6355
FAX (06)372-1165・(06)372-2455
- 大阪サービスセンター
〒660 尼崎市西高洲町16番地44
電話 (06)411-5551 FAX (06)411-5666
- 岡山サービスセンター
〒702 岡山市藤崎570-1
電話 (086)276-8171 FAX (086)276-8174
- 四国サービスセンター
〒763 丸亀市土器北2丁目43番地
電話 (0877)22-3165 FAX (0877)22-3166
- 福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号(日本生命ビル4階)
電話 (092)441-0922 FAX (092)481-3477

お客様メモ

購入日	平成	年	月	日
購入店名				